

平成20年度 2号
2008年 5月1日

住み良い町づくりへ
ご意見・情報*をお寄せください

元気! 緑 & 芥見東 自治会だより

発行
岐阜市 芥見東自治会連合会
芥見東まちづくり協議会
発行人:多田 喜代則
編集:自治会連合会文化部会

5月25日(日)

は「ミゼロ」の日。8時からです。今年には各種団体の役員だけでなく、各家庭でも住まいの周りの清掃をお願いします。緑に恵まれたこの地を大切に。

得々回数券 申込みはお済みですか? 芥見東小・藍川東中の皆さんからポスター2005
点が寄せられ、6月1日の発車式で、愛称・キャラクターの入選者と共に表彰します



芥見東の南の
みどいっこバス
6月1日から走ります

みどいっこの「育ての親」になりませんか?

サービス乗車券付き得々回数券の申込みは、自治会締切り後も**5月9日まで東公民館(ポスト)**で受付けます。
<連合会長のここ一番> 一多田喜代則

1昨年来、民意を基に諸課題をクリアしながら準備してきた地域巡回の**みどいっこバス**がいよいよ走ります。4月末、岐阜市の方で運行事業者(日本タクシー)を決定し、運営協議会が正式に発足しました。

さあ、買い物や病院へは、**みどいっこ割戻回数券**で出かけましょう。路線バスやお店もうまく利用し、また藍川方面へは「あいあいバス」、さらに三輪・三田洞方面は「みわっこバス」に乗り継いでも楽しいですね。

これからは私たち住民自身で、地域の暮らしやすさ、利便性を高め一層魅力あるまちにして次世代にリレーできるよう、ご近所の底力を発揮しましょう。□■

地域の目 子どもたちを見守る大人がいて



一桐が丘支部・田中 寿子さん

今年も桜の花の舞う中、東小生が坂を上り下りして帰っていきました。この坂道、子ども達の下校を見守りつつ、黙々と掃除される方を幾人か見かけます。

玉のような汗の人のすぐ横をクーラーの利いた車で通り過ぎる時、思わず頭を下げずにはおれません。その姿は、無言で子どもたちに語りかけています。

大人から解放された時間は子どもには必要で、道草を楽しんで帰った思い出を年配の私たちは皆持っていますが、昨今は子どもを守る積極的な大人の目が必要な時代になってしまいました。

けれども、いつも知ったおじさん、おばさんに声をかけてもらい、通学路を掃除してもらい、見守られているという日々の風景こそは、きっと子ども達の心にかげがえのない心性を育てていると思うのです。□■

連合会総会のご報告《決算・予算編》

以下の通り、昨年度決算、今年度予算が承認されました。自治会長に配られた資料をご参照ください。

平成19年度 連合会一般会計決算

収入の部

費目	決算額	備考
繰越金	繰越金 1,343,343	前年度より
会費	会費 5,107,000	世帯割+自治会数分
補助金	市補助 1,524,148	自治会運営、都市美化、敬老会、成人式、防災訓練
報償金	報償金 2,084,195	分別回収奨励金
手数料	手数料 1,120,336	県・市の広報紙配布
雑収入	雑収入 451,451	寄付金、夏祭り模擬店など
収入総合計		11,630,473

支出の部

費目	決算額	内訳(単位:千円、四捨五入)
会議費	会議費 270,023	総会:23、役員会 73、各種団体会議費:172 など
事業費	総務部会費 1,376,177	成人式:297、敬老会:1,079
	文化部会費 1,092,941	市民運動会:981、自治会だより:111
	厚生部会費 1,422,590	防災訓練:242、夏祭り:875
	環境部会費 138,054	都市美化:94、刈刈見学:44
事務費	事務費 974,270	旅費:109、通信費:15、役員活動費:190、印刷機維持費:132、消耗品:232、備品:239、保険料:36 など
渉外費	渉外費 165,132	渉外費:127、慶弔費:38
負担金	負担金 2,108,880	まちづくり協議会等:675、各種団体補助金:1,190(12団体)、支部活動費:243
特別会計繰出し金	2,471,000	消水防協力費として
積立金	積立金 200,000	災害等積立金:200
次年度繰越金	1,411,406	
支出総合計		11,630,473

平成20年度 連合会一般会計予算(概要)

収入の部《総額》11,524,906円(前年並み)

支出の部:効率的・効果的な連合会事業に役立てます。

費目	予算額	備考(前年度との差異)
会議費	315,000	前年度予算並み
事業費	4,100,000	前年度予算並み
事務費	981,000	前年度予算並み
渉外費	200,000	前年度予算並み
負担金	1,890,000	前年度予算より減額
特別会計繰出し金	2,470,000	消水防協力費として
積立金	積立金 200,000	災害等積立金のみ
予備費	予備費 1,368,906	次年度への繰越金相当
支出総合計		11,524,906

*「こうしては?」のご意見や話題・知恵・要望などを、ご連絡先を付して東公民館ポストまでお寄せください

大洞	4-82
東山	3-55
北山	38-372
コモン北	6-87
桜台	23-334
桜市	41-314
柏台	31-338
柏市	26-219
桐丘	23-200
桐市	6-45
紅葉	21-267
紅市	16-142
桜2P	1-23
計	239 /2478

尚子さん その一言が私の人生を変えた

—「岐阜を想う会」代表 柳井 妙子さん

大学生の子を持つ私も、実は学生です。地域が元気で住みやすいまちになるにはどんなことが重要なことだろうか、という「まちづくり」の研究をしています。

私が進学したきっかけは—2005年11月の東京女子マラソンで、高橋尚子さんが長いブランクの後優勝し、インタビューで語りかけました。「私と同じ30代の人や40代、50代、60代の皆さん、どうぞ夢をもって何かを始めて下さい。そしてその夢をあきらめないで」。

尚子さんの粘り強い走りに感動していた私は、その言葉に本当に心を揺さぶられました。「本当だ、私も何か夢を持って行動しよう」。そばにいた主人も「博士課程に挑戦したら？」と背中を押してくれました。

40代で始めた研究は、修士課程卒業後は夢を失っていました。2年前、奈良女子大大学院人間文化研究科博士課程に合格、再び研究生活を始めました。

心からの一言が、本当に一人の人生を変えました。自分の可能性を全力投球で追求し続けている尚子さんの言葉だからでしょう。今後も尚子さんを応援し、私自身も充実した人生を送れればと考えています。□■

環境 未来へ引き継ぎたい大洞の自然！

—岐阜市自然環境課 吉村 卓也さん

大洞は、市内でも非常に生物多様性が高く、“市指定天然記念物 大洞シデコブシ群落”をはじめ、貴重な動植物種の宝庫と言える地域です。

丘陵地の谷間に分布する、細長い水田の多くは休耕、あるいは放棄され、湿地状態となっていますが、このような環境にこそ、昔ながらの里山の自然がタイムカプセルのように残されています。

しかし、これら農地由来の湿地も、これ以上放置すれば、近い将来にはセイタカアワダチソウなどの外来植物が繁茂する荒地となってしまいます。

今、荒廃しつつある里山に再び集い、楽しみながら大洞の自然を守ろう！という地域の活動家が増えています。このような“地域が主役”の取り組みが、岐阜市の自然を守り育てることへと繋っています。



住民による湿地再生活動



山田川に今年も元気な鯉たち80匹

防災コミュニティ 一歩一歩備えて行こう

—東山支部長・小國 治良さん

「地震の日本史」(寒川旭著)によると、「日本人は一生に一度、命が危険に曝される大地震に遭う運命にある」。住民の防災意識・関心は、毎年6月の防災訓練や各種の防災啓発資料により高まってきた。

しかし、東山支部として現実に東海・東南海地震が発生した場合、備えは十分とは言えない。そこで昨年度の自治会で検討を重ね「東山支部防災コミュニティ計画」を策定し、新年度総会で全世帯に配った。

この計画書は、当連合会から出ている各規定類を基に、災害への平常時の備えと発生時の対応について、基本的なルール(約束事)を決めたもので、総会では、災害発生時には住民皆で協力して臨機応変に対応しようと申し合わせた。

今後の課題は、計画書に基づき要援護者(高齢者・身体障害者・乳幼児等の災害弱者-昨年9月に調査)にも参加してもらって、実践的な訓練を行うことであり、災害への備えを一歩一歩高めていきたい。 □■

ゴミゼロ きれいな街・北山、いつまでも

—北山地区担当民生委員・古瀬 浩平さん

「なあ、古瀬さん、罪の償いしよっかね」と昨年2月、向かいの T さんが我が家へ。私「はあっ？」と。続いて T さんは、「古瀬さんも若い頃、タバコの吸殻を靴で踏み潰し、道路に放ったり、側溝に捨てたりしなんだ？」と言うので、「うん、やったね」と私。

「よしやろう」と、2月6日スタート。背負子を背に、月に1,2度のペースで、北山団地内の道を二人で歩き始めた。今まであまり気づかなかったが、道路や歩道には何とタバコの吸殻のポイ捨てが多いことか。一つづつ長い火鉢で拾っては、バドミントン・ラケットを利用したゴミ袋に入れ、歩くこと1時間。背負子は満タン。

今年の2月で一周年。最近では、拾って歩いていると、「ご苦労さま、ありがとう」と労いの声。嬉しいね。「償いの日々。生きる喜び人生90年。きれいな街、北山」。死ぬまでやろうね、Tさん。 □■



★防災訓練は6月8日です。藍川東中のご配慮で東中生も参加します。大人と一緒に防災意識を高めて、いざ！の場合、心強い助っ人になってくれるでしょう。